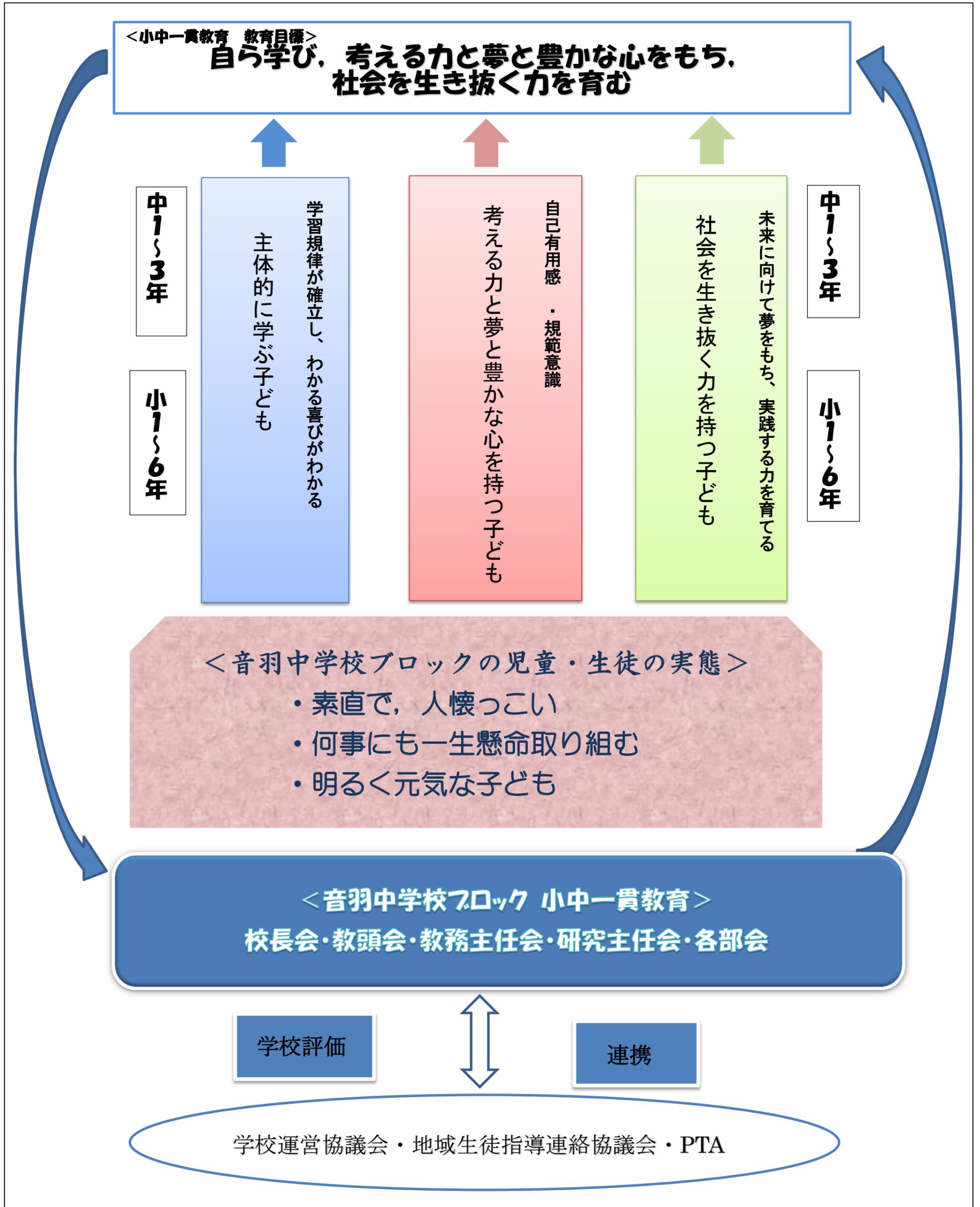


音羽中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



軸となる取組・活動

義務教育卒業時に付けたい力								
主体的に学ぶ子ども								
わかる喜びが分かる								
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識・技能を習得し、活用する力をつける。 ・問題解決ができる力をつける。 ・将来展望を持って、目標を達成しようとする力をつける。 								
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
学年または学年区分ごとにめざす姿								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 100%;"> 学習規律が確立し、わかる喜びが分かる。 </div>								
<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律を身につける。 ・発表時の話型を身につける。 ・話す声の大きさや速さを意識して話す。 ・宿題をやりきる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を見つける。 ・理由や根拠を明確にしなが ら、相手にしっかり伝える。 ・自ら進んで宿題をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習に取り組み、自分の課題や発展的な問題に取り組む。 ・人の意見を聞いて、自分の考えを深める。相手に自分の考えを伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題を見つけ、計画的に学習に取り組む。 ・相手の意見を聞き、自分の考えを的確に表現する。 ・自分の将来について展望を持って、努力し、進路を掴む努力を惜しまない。 		
<中学校ブロックとしての取組> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科部会で、9年間を見据えた学習課題の検討を進め、カリキュラムを作成する。 ・小学校・中学校間での授業研修を深める。 ・小・小連携も深め、学習規律のルールの確認等を進める。 ・学習確認プログラムや全国学力・学習状況調査などの結果の分析や課題等を小中で共有する。 								

義務教育卒業時に付けたい力								
考える力と夢と豊かな心をもつ子ども								
(自己有用感・規範意識)								
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの行動で、問題や課題を解決し、集団の一員として協力する力をつける。 ・社会の中で、何が大切かを判断できる。 ・自己有用感を持って、行動できる。 								
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
学年または学年区分ごとにめざす姿								
6年生に憧れの姿を学ぶ。					最高学年としてのリーダーとしての姿 (自己有用感)		小・中学生のリーダーとしての姿 (自己有用感)	
<ul style="list-style-type: none"> *決まり事やルールを守る。 *友達と仲良くする。 		<ul style="list-style-type: none"> *社会のルールを守る。 *集団生活を大切にする。 		<ul style="list-style-type: none"> *相手の立場や気持ちを考えて行動する。 *自分の役割に責任を持って行動する。 *社会のルールやマナーを守る態度を養う。 			<ul style="list-style-type: none"> *主体的に行動し、自分の行動に責任を持つ。 *相手を思いやる態度を養う。 *社会に貢献する態度を養う。 	
<中学校ブロックとしての取組> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会・生徒会を中心とした交流学習等の機会を実施する。(読み聞かせ・あいさつ運動等) ・小学校と中学校の異年齢交流の実施の検討を進めていく。(学習発表会や合唱コンクールなどの参観や参加などの検討など) ・児童会活動・生徒会活動の中で一緒に取り組める事柄を検討する。 								

社会を生き抜く力を育む

・未来に向けて夢をもち、実践する力を育てる

小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
学年または学年区分ごとにめざす姿								
*地域を知ることにより興味関心を高める。		・課題を設定しながら、調べ学習や体験学習を通して社会に目を向ける。			・自分の将来展望を持ち、思考力・判断力・表現力の力をつける。 ・課題設定・探究活動に取り組み、調べ学習や言語活動をもとに、協働学習の力をつける。			
＜中学校ブロックとしての取組＞								
・9年間を見据えたカリキュラムの検討を行い、一貫した力をつけるための小学校3校で取り組んでいける内容の検討を行う。								

学びの約束・ルール

項目	小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
家庭学習	<p>学年 × 10分 </p>						<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見つけ、学習方法や学習内容を考え、継続して、実践する。 計画的に、復習を中心に取り組む 学習する中で質問や疑問が出たときには、先生等に聞き、解決していく。 		
学習態度	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で座る。 元気よく返事する。 鉛筆を正しくもち、机の上を整理する。 話す声の大きさや速さを意識して話す。 発表時の基本的な話型を身につける。「はい～です。」 話し手の方を見て聞くことを習慣づける しっかり手を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理由や根拠を明確にしながら相手にしっかりと伝える。 学習課題を見付ける。 グループ等で話し合いを進めることができる。 話型を提示することで、主語、述語を意識させ、自分の思いを伝える。 自分の考えと「似ている」「違っている」などの話型に着目して聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもって自分の考えを伝える。 人の意見を聞いて自分の考えを深めたり広めたりする。 質問したり意見をまとめたりする司会ができる。 自分と友達の意見の共通点、相違点を聞き比べながら、よりよい意見を考える。 友達の考えに対して、気になるところは質問できるようにする。 相互指名をして、自分達で話し合いができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律を確立する。 黒板、机上の授業準備、号令など、休み時間とメリハリをつけ、授業に集中できる環境をつくる。 与えられた課題に対して、積極的に取り組む。 分からないことにあきらめず、質問がある場合は、積極的に聞き、解決しようとする。 お互いに教え合える雰囲気をつくる。 話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じて、メモを取りながら聞く。 相手の意見を受けて、自分の考えを的確に文章や言葉で表現する。 					
ノートづくり	<ul style="list-style-type: none"> 使ってほしい言葉をたくさん示すことで、表現を広げる。 書き方の例を示すことで、書くことに自信をもつ。 様子を表す言葉やことばのつなぎ方を学び、思いを文で表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の例を示すと共に、書く時間を確保する。 「はじめ」「中」「おわり」それぞれに書く内容をおさえながら書く。 つなぎ言葉を意識して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 図や絵など、文章+αで書けるようにする。 説得力がある文章になるよう、文章構成に気をつけてかく。 自分と他者との表現の違いに気づき、よりよいノートの活用を考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を整理し、見直しに活用できるノートづくりを心がける。 先生や友達の発言、自分の考え、その時間のポイント、間違えた理由などを分かりやすくまとめる。 					